武　一　中

令和７年５月28日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R7－4号

URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

「恩送りを広めたい」の感想

校　長　　中嶋　建一郎

5/19 朝礼の話の感想を 29 人が書いてくれました。ありがとうございました。一部を紹介します。一中生の仲間がどんな風に考えたか、読んでみてください。

○「恩返し」という言葉の意味などは知っていたけれど、「恩送り」という言葉は初めて聞きました。今日の話を聞いて「恩返し」だけでなく、他の人に「恩を送る」ということも大切だと思いました。

●私は恩送りという言葉を初めて聞きました。例えば先輩から教えてもらったことを後輩に教える。恩送りは受け継ぐということだと思いました。なのでこれからも恩を送って広めていきたいと思いました。

○恩送りという言葉を初めて知り、確かに何かしてくれた人が身内や知り合いでもなければ遭遇するのは難しいため、恩返しだけでなく恩送りもしていきたいと思いました。

●今日は、恩送りという言葉を初めて知りました。人にやさしくしてもらうことがあってもその人に返すことはできないので、他の人には、やさしくして恩を送れるようにしたいです。

○恩送りという言葉自体初めて聞いた。恩送りをすることは自分もされた相手もいい気持ちになり、日常の中で当たり前のように恩送りをできたらいいと思った。

●恩送りという、人を豊かにしていく文化を日本に定着させていきたい。

○私も先輩に送ってもらった恩を次の後輩に受け渡して行きたいのと、恩送りの連鎖を作っていきたいです。

●自分も恩を返すことも大事だけど、簡単にできそうなのは恩を送ることだと思ったのでこれからは積極的に恩を送っていくために良いことをしようと思いました。見返りは求めずに恩を送ろうと思いました。

○知らない人に恩を返すことは難しいから誰かに送るという恩送りという考え方を知って、この考え方がもっと広まっていけばいいという校長先生の考えに深く共感しました。

●校長先生の「みなさんも気づかないうちに恩送りをしているかもしれません」という話を聞いて、母や先生、友達からもらった善いことや親切を、すごく小さなことでも、周りに恩送りを積み重ねていきたいと思いました。

○恩返しは相手からもらって返さなきゃいけない、みたいなところがあるけれど、恩送りならもらった恩を途絶えることなく続けられるのでやってみようと思いました。

●恩返しという言葉は聞いたことがあるけれど、恩送りは聞いたことがなかったので、小さな恩送りでもいいからやってみたいと思いました。

○恩送りをして、支えてくれている人に感謝したいと思いました。

●自分も知らず知らずのうちにやってました。言葉を知った今日からも恩送りしていこうと思います！

○恩送りは恩返しと違って、いいことをしてくれた人と違う人にいいことをするとわかった。また、恩送りはとても大切なものだとわかった。

●先輩から教わったものを後輩に繋いでいきたいと思った。

○恩送りという言葉を初めて聞き他人からの恩を他の人へ反映させることだと知った。だから、部活動でこの恩送りをしてみたいと思った。

●自分も「あの星の降る丘で、君とまた出会いたい。」という作品で恩送りという言葉を知りました。先生のお話にあったように今は先輩に楽器の叩き方やいい音の出し方、運び方などを教わっていて、恩返しができない分、後輩に教えてもらったことを教えていくことができたらいいなと思いました。

○恩送りは聞いたことはあったのですが、意味を知らなかったので良い機会でした。自分は受けた恩は同じ人に返すものだと思ってました。でも、恩送りをして本当に世界が平和になれば良いなと思いました。

●前から恩送りという言葉は、本で読んでいたので知っていましたが、自分が実際に恩送りをしたり、どういう意味なのかを考えたことはなかったので、新たな学びになりました。私は、部活動などで去年一年間、先輩達に教えてもらったこと（恩）を下級生に教えて、恩を送り届けられるようにしたいです。

＊皆さんの感想を読むと「恩送り」という言葉を受け入れてくれたことがわかります。特に部活動での「恩送り」は身近なことだったので、理解しやすかったようです。今回、「恩送り」という言葉を知ったので、これからは「これは、恩送りかもしれない」と感じたり、「恩送りしよう」と思ったりする場面が増えることでしょう。

＊さて、皆さんは誰に恩を受けていますか。部活動だったら先輩でしょうか。感想の中には、親、先生、友達、身内、知り合い、それ以外の知らない人などがありました。自分が「良いことをしてもらったな」とか「助かった」、「嬉しい」などと感じて、それは「あの人のお陰だな」と思った人だと思います。

＊「やってもらって当たり前」、「全て自分の力で出来ました」という考えでは、恩を受けていると感じないかもしれません。今の自分は誰に助けてもらっているのか、これまではどうだったのか考えてみることも大切です。

＊恩返しが出来るなら恩返しを、出来ない場合に「恩送り」を是非してみましょう。「恩送り」が広がることを期待しています。